

# 高天原にある卑弥呼の墓

大野克浩

高天原最有力地・奈良県御所市高天の日本最古の神社・高天彦神社の境内に、径百余歩(約150m)の塚があり、魏志倭人伝の記述通り奴婢が埋葬されている。  
埋葬された奴婢とは土蜘蛛である。



卑弥呼(ヒミコ)とは簡単。

⑩崇神(310年頃 318年没)

⑨開化

⑧孝元

⑦孝霊

トヨ津 ⑥孝安 ⑤孝昭

トヨ津 (250年頃) ④懿徳

ヒメ(踏鞴五十鈴) ③安寧

ヒメ(踏鞴五十鈴) ②綏靖

ヒメ(踏鞴五十鈴)(200年頃) ①神武

故・金関 恕(かなせき ひろし)さんが奈良県天理市和爾の東大寺山古墳から発見した「国宝」中平銘鉄刀。

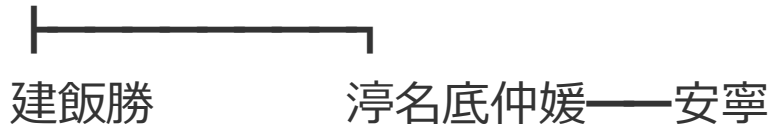
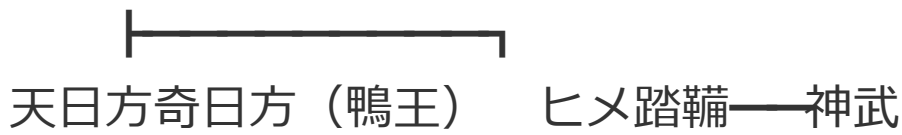
金関さんは2017年3月の考古学雑誌で、この刀は卑弥呼の五尺刀ではないかという見解を述べられている。

同じく[京都教育大学](#)名誉教授で[元・橿原考古学研究所](#)指導研究員の和田萃さんも、和邇氏の系譜に卑弥呼がいるのではという見解を述べられているようだ。

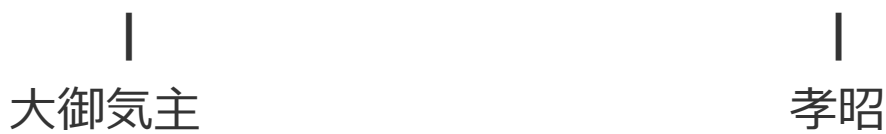
仮にそうだとすると、謎の豪族・和邇氏と卑弥呼の関係が分からなかった。

下記、和邇氏の系図に卑弥呼も台与もいる。

事代主



鞮 (248年没)



媛 (開化天皇妃)



乙国菘命



氏祖】

彦忍人命      建耶須禰命      大日納命

【飯高氏祖】

(武社国造)



八千宿禰命

難波根子武振熊命

彦汝命

真侶古命

(吉備穴国造)

【和邇氏祖】

【葦占氏

祖】

(額田国造)

ヒメ(踏鞴五十鈴)媛もトヨ津媛も鴨族。

鴨の語源はカミ。

鴨族の聖地が高天原。

ヒメ(踏鞴五十鈴)もトヨ津媛も死後に高天原の神々になった。

ヒメ(踏鞴五十鈴)の時代、土蜘蛛を征したのは神武である。

神武は土蜘蛛を征し、東ね、カシハラに住んだ。

その土蜘蛛の末裔はヒミコの時代から1700年後に声を上げる。

「人の世に熱あれ 人間(じんかん)に光あれ」

この地が水平社運動の原点となる。

だから今でもカシハラでは水平社博物館と神武天皇社が並んでいるのだ。



ヒメ(踏鞴五十鈴)は夫の神武に先立たれる。

その姿は【年已長大 無夫壻】である。

## 邪馬台国纏向説は成立しない

卑弥呼の墓 = 円墳 = 150mがすぐ見つかったなら話は早

い。が、大和盆地を見渡しても150mの円墳がな

い。 箸墓という前方後円墳の円墳部分が150m。

ここではないか。

日本書記には箸墓はモモソ姫の墓という記述がある。

モモソ姫は一皇女だから女王とは言えない。が、モモソ媛と

いう記述は箸墓が女性墓という伝承があったからだ。ここに間違いはないだろう。

失礼ながらこの程度が今までの畿内説。

箸墓古墳のある纏向遺跡とは古代物部の遺跡である。

亡くなられた森浩一さんや上田正昭さんは先代旧事本紀の重要性やその復権を言われていた。

筑紫、吉備、讃岐、播磨(2013纏向学 寺澤薫)

先代旧事本紀によれば、かつて幾多の瀬戸内物部勢力を引き連れて畿内入りした人物がいた。

ニギハヤヒである。

そのニギハヤヒが神武に屈した場所とは神武東征紀を素直に読めば纏向のある桜井市外山(とび)である。

また大王で最初に纏向に宮を構えたのは10代崇神である。

通い婚の当時、母親の実家で子供を育てたことを考えれば崇神を産んだ物部のイカガノシコメが纏向にいたと考えるのが妥当である。

纏向遺跡とは古代物部の遺跡でありここに卑弥呼はいない。

## 九州説は虚構である

九州説は国学者によって創り出された虚構である。

新井白石や本居宣長は、

大和朝廷や古代天皇の中国への朝貢という史実を、国学者のプライドとして認めることが出来なかった。

だから「当て馬」として九州をあえて出した。

九州説なるものを創作し、支持者を集め、議論させる。  
議論してるうちは大和朝廷や古代天皇の中国への朝貢という重い荷物を着席させずに済む。  
永遠の水入り、永遠の非着席、永遠の中腰を狙ったのだ。

これは天才の発想である。

## 古代天皇はなぜ100歳を超えるのか

これは以前書いた事であり重複するが大事だと思うので再度書く。

朝貢年

266年 台与

トヨ津

・

238年 卑弥呼

ヒメ（踏鞴五十鈴）

・

・

・

・

・

107年 倭国王・帥升

スサノオ



つまり邪馬台国＝大和朝廷はその初現の段階から中国に朝貢していた。

スサノオはわざわざ海を渡り、後漢・安帝に謁見、土下座した。

この屈辱的な史実を日本書紀は書けなかった。

だから基点となる神武時代を BC660年と大きく古くずらし潤色した。

その結果100歳を超える天皇が誕生した。

そして実際には女王国であった時代も、やたら猛々しい神武東征紀で男王国であるかのように演出した。

さらに神武とヒメ踏鞮に「天皇・皇后」という新称号を与え、

女王であったヒメ踏鞮を皇后にした。

そして高天原の場所もまるで九州ともとれるように潤色した。

これが私の考える日本の歴史の真相である。

2018年10月31日

大野克浩